

立命館大 3年

由比あすかさん

映画「ひろしま」を世界へ
学生プロジェクト代表

FOCUS

追いかける。大学生。

1953年に製作され、原爆の悲惨さを伝える映画「ひろしま」の英語翻訳とその字幕製作を学生らが行った。由比さんらは春休みの時間を使って字幕を完成させ、6月14日に大学内での上映会を予定している。



昨年10月に映画プロジェクトサークルでプロジェクト主催の小林一平さんと出会ったのがきっかけで字幕製作に参加することになった由比さん。最初は「翻訳って面白そう」というささいな気持ちだったと話す。けれど映画を見て衝撃を受けた。原爆投下後わずか8年後の広島で撮影された「ひろしま」の映像の壮絶さに原爆の恐ろしさを感じた。それから今春卒業した

竹下由佳さんらと翻訳に協力してくれるメンバーを募集。1月には字幕無しでの上映会を開催し、学生に映画の存在を知ってもらおうとした。実際の翻訳作業は10分以上の映画をシーンごとに16人のメンバーで分担し、まず映像と台本を見比べ台詞のチェックを行った。それから画面に向かい辞書との格闘だったという。昨年アメリカへの短期留学も経験している

原爆題材の映画翻訳

英字幕で「ひろしま」世界に伝える

由比さんだが、英語の得意不得意はあまり作業には関係なかったという。「ずっと辞書にとらめっこです。不安な部分が出てくるとホワイトボードに書き、一日中みんなで話し合いました。メンバーで解釈の違いも出てきて、例えば『どうにでもなれ』は希望が無い状態なのかやるせない様子なのか」と翻訳中の苦労を話す。2月から始めた翻訳作業は字幕を打ち込む最終行程が終わるまで2カ月を要した。「やっと終わったという感じ」と完成を喜ぶ。

「この映画を見て、原爆の悲惨さを少しでも知ってもらい、平和について核兵器についての関心を持ってもらいたいと考えています。また映画には被爆後の『家族愛』が描かれています。芸術作品だからこそ受け取れるメッセージもあると思います。この映画を見た人に何か感じてもらいたいですね」と話す。英語字幕の製作で「ひろしま」を世界中に伝えたい考えた。

(聞き手 正本雄一)

UNN 関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムズ編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです